

キャリア教育新聞

No.5

2025年6月
発行

共創共学
プラットフォーム
(塩尻市教育委員会委託事業)

共創共学プラットフォームメンバー紹介

NPO法人MEGURU

昨年度より、教育委員会の委託を受け、共創共学プラットフォームの事務局を担っています。

NPO法人MEGURUは、「地域の人事部」をテーマに法人の人的資本経営の推進や個人の多様なキャリア形成を地域ぐるみで支援しています。

キャリア教育チームでは、学校と地域・企業との橋渡し役として、従来は学校や先生に任せがちだったキャリア教育を地域全体で推進できるよう支援を行っています。具体的には、キャリア教育プログラムの企画・設計や、外部人材のコーディネートなどに取り組んでいます。

丘中学校2年生

働く想いに触れる企業見学

六月三日、丘中学校二年生を対象とした企業見学が行われた。今回の企業見学では、仕事内容や職場の様子を知るだけでなく、働く人の想いや価値観に触れることが重視された内容となっている。

共創共学では、学校の依頼を受けて、新たな受け入れ先企業の開拓を支援。今回は、塩尻市内の十四ヶ所の事業所が受け入れに協力した。見学に向けて、学校では生徒に「自分が大切にしていく価値観」を考える授業を実施。あわせて、受け入れ企業にも「働く上で大切にしている価値観」を考えていただき、当日はそれを中心に話をしていた。



▲美勢商事（株）食品工場の見学風景
(餃子製造の工程について)

見学は、およそ二名の少人数グループで各事業所を訪問。少人数だからこそ、担当者や生徒の間で双方のやりとりが生まれる機会となった。



生徒の声
一例

自分だけのためではなく、誰かのために働きたい。



生徒の声
一例

収入を得るのはもちろん大切だけど、人の役に立つことや、協力し合うことも大切にして働いてみたいと思った。

丘中学校三年生

探究学習キックオフを実施

丘中学校三年生を対象とした探究学習のキックオフが実施された。共創共学では、ティーマオナー（探究伴走者）のコーディネートを行い、本取り組みを支援している。

生徒たちは事前に自身の関心に基づいたテーマを選定。キックオフ当日は、各テーマの地域事業者を招き、現場で直面している課題や、生徒に考えてもらいたい視点などについて語っていただいた。本年度は、のーとや、高ボッチフェス、ふるさとCOM大賞、地域貢献サークル「ダスク」、福祉、空き家問題など、多岐にわたるテーマが設定されている。生徒たちは、グループに分かれ、取り組みたい内容について積極的に意見を交わしており、主体的に学びを深める姿が見られた。

塩尻市キャリア教育委員会

五月二十二日に今年度第一回のキャリア教育委員会が開催された。本委員会は市立小中学校に加え、市内三校の高等学校の先生方が一堂に会し、協議や研究をする。今年度は塩尻市キャリア教育グラウンドデザインに基づき、各学校でキャリア教育を推進していくため、これまでの活動実践の共有や今年度の活動方針について協議した。

これまではふるさとキャリア教育を大切にしてキャリア教育を進めてきた。これからは「ふるさと」の教材を活用しながら、発達段階に合わせた「小中高一貫」した「探究型」のキャリアを実施していく。各学校の代表である委員の先生方を中心に各校で計画していく。

◆お問い合わせ

共創共学プラットフォーム事務局（NPO法人MEGURU）
塩尻市教育委員会事務局学校教育課（0263-52-0280 内線：3112）